

## 平成28年度 第1回部長監督会議 議事録

### 【1】年次報告

- 1、平成27年度（前年度）の会計収支報告について
  - 2、平成28年度（今年度）の会計予算報告について
- 別資料参照!

### 【2】前年度頂いたご意見に対しての今後の方針について

#### 1、交流会について

〈ご意見〉

- ①開催時期を3月にしてはどうか（松岡様）

〈学連の提案〉

昨年度始めた交流会ですが、今年度は開催しないことと致しました。その代わりにして、今年度より高校に大会要項を送り、春大会、夏大会、1部リーグ戦、室内大会に高校生を招き、大学テニスを知ってもらおうと思っております。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①違う時期に開催することで存続はできないのか。

夏に開催すると高校3年生が参加できない

夏に不況であれば3月に試してみるべき

- ②選手の減少傾向を考えると高校生の窓口をつくり対策を立てるべき

〈学連の返答〉

- ①高校生との交流に積極的な大学は学連の介入を無しにしても自ら活動を行っている。学連がそこまで介入する必要もないと考えた。

- ②学連としても危機感を感じており東海学生にも同じ危機感を持ってもらうために働きかけるつもりではあるが、今年の活動としては前述のものをメインとする。

#### 2、学連の人員確保について

〈ご意見〉

- ①学連の人数を増やすべきではないか。（小谷様、松岡様）

- ②4県から平等に構成すべきではないか。（松岡様）

- ③各大学1人必ず出す方式、1年間で交代する方式など試みてはどうか。（松岡様）

〈学連の提案〉

- ①現2年生までは1学年に8名程度でしたが、1学年12名程度が妥当と考え昨年度より改めました。今年度も同様の人数を要請する予定です。

- ②学連の選出方法は、東海学生テニス連盟規約第4章第12条「委員はリーグ戦に於ける男女1、2部校より各1人ずつ及び、他校より若干名選出するものとする。」と記載されており、これにのっとった形で平等に選出を行っております。

- ③学連の構成員は、人数が多ければ事足りるという問題ではありません。それぞれに役職を与え、担当のタスクを管轄することで成り立っています。また、1年間の交代制という件ですが、2年生にはリーグ担当、3年生には各大会のレフェリー・ディレクター、4年生には重役幹事等、それぞれに役割が与えられているため到底実現可能とは思えません。ご理解ください。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①学連の負担を減らすために幹部学連はそのまま一般の仕事をやってくれる人を!学連として入れてはどうか。学連の部活、学業が心配である。

- ②規則通りに学連を出せてない現状があるのではないか。

〈学連の返答〉

- ①少し前の学連の体制に比べると柔軟な対応を取ることができるようになり、前年度から学連の人数が増えたため毎大会全出席のような状態ではなくなった。
- ②現状として隔年で1、2部の大学から学連を呼ぶようにしている。

### 3、ミニリーグについて

〈ご意見〉

- ①男女混合チームとはいかなるものか。(小谷様)
- ②チーム名に関して、大学名を主体とすべきではないか。(小谷様、松岡様)
- ③収益アップのためにサークルや同好会への出場を呼びかけてはどうか。(松岡様)

〈学連の提案〉

- ①女子の部員は少ない大学が多く、1大学だけでは出場できない大学が多く存在します。そのような懸念を払拭するために混合チームでも可能という措置を取っています。
- ②チーム名の文字数を8文字以内と制限します。今回、長すぎてドローに収まりきらなかったチームがあるからです。しかし、大学名主体ということに関しては、開催コンセプトを他大学との交流やリーグ戦へ出場できない選手への団体戦出場機会の創出と銘打っているため、チーム名には議論の余地がなく好きなもので良いのではないかと考えます。文字数を制限したことで、奇抜なものにできなくなると考えます。
- ③非常に面白い提案だと思っていますが、現実的に考えると団体登録費や個人登録費の問題もあります。また、これこそお遊びのテニスとなってしまおうでしょう。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①学連が開催する大会である以上、奇抜な名前はよくない。  
また、チームとしての意識を持たせるのであれば大学名にするべきだと考える。
- ②交流会が趣旨であるのであれば、!ミニリーグ以外の方法もあるのでは。

〈学連の返答〉

- ①学連が判断してよくないものは変更してもらおう。そのための基準づくりが必要である。
- ②合同練習会など他の案も考えて提案させてもらおう。

### 4、春大会のエントリー会について

〈ご意見〉

- ①春大会のエントリー会を3月下旬ではなく4月上旬に行ってはどうか。(小谷様)

〈学連の提案〉

- ①3月下旬に行っても、4月上旬に行っても、ほとんどの大学が仮入部すら始まっておらず、新1年生が出場できない問題は変わらないように思います。また、大会日程ではほぼすべての土日が埋まっていることもあり、後ろにずらすことは困難であります。ご配慮ください。

〈今回の部長監督会でのご意見〉

- ①夏大会をインカレ後にずらし春大会のエントリーを遅らすことはできないか。
- ②新入部員の高校生は春大会がインカレ予選の大事な大会であることを知らないのが問題なのではないか。

〈学連の返答〉

- ①夏大会をずらすことでインカレ後の日程が過密になりリーグ、チャレンジにも影響がでてあまりメリットが出てこない。

- ②早急に解決出来る案として新入生への広報活動をすることで新1年生のエントリー数を増やしていきたい。

#### 5、大会の日程について

→別資料参照

〈ご意見〉

- ①各大会の本戦を土日始まりにするべきではないか。（小谷様、松岡様）  
〈学連の提案〉
- ①新進、夏大会、チャレンジ、ミニリーグに関しましては配慮いたしました。春大会は岐阜メモリアルセンターの他大会の兼ね合いの問題、室内大会は最終日を日曜日にもっていきたいため、止む無く断念いたしました。

#### 6、審判要請について

〈ご意見〉

- ①大学の所在に関係なく、平等に要請すべきではないか。（小谷様、松岡様）  
〈学連の提案〉
- ①今年度以降は、全大学から平等に呼ぶ予定です。しかし、審判要請の回数は、部員数に比例するように考えられていますので、必然的に部員数の多い大学の人数が増えてしまうことはご承知ください。あくまで、平等に要請するように配慮いたしております。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①審判要請で学校を休まなくてはならないことが選手減少の一つの原因ではないのか。  
〈学連の返答〉
- ①インカレ運営をしている以上審判要請の数が多くなってしまいうのはしょうがない。できるだけ大会を土日開催にすることでその問題は軽減されるはず。

#### 7、室内大会の会場について

〈ご意見〉

- ①愛知県体育館ではなく、岐阜メモリアルセンターのAコートや東山テニスセンターの室内コートを使用してはどうか。（松岡様）  
〈学連の提案〉
- ①結論から申しますと、今年度以降も愛知県体育館を使用したいと考えております。一番に選手の寒さ対策の問題があります。さらに、金額面の問題も解決できています。毎年好評を博しているキッズテニスの参加者のアクセスを考えると、愛知体育館が妥当なのではないかと考えています。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①フォレストヒルズという場所もあるので検討してみてもどうか。  
〈学連の返答〉
- ①キッズクリニックや観客の確保などがあるので交通の便などを考えて検討する。

#### 8、室内大会のボーラーについて

〈ご意見〉

- ①当該選手の大学からのボーラーをつけてはどうか。（小谷様）  
〈学連の提案〉
- ①今年度より、室内に出場する選手の大学からボーラーとして必ず2名出してもらうように致します。各大学の負担軽減のために、このような措置をたらせていた

だきます。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①ボーラーはそんなに必要なのか。同じ大学の選手が多く入ることによってボーラーが足りなくなる。そうすることで授業を休まなくてはならなくなる。

〈学連の返答〉

- ①室内に出場する選手の大学からボーラーとして原則2名出してもらうことにする。

#### 9、リーグの没収について

→別資料参照

〈ご意見〉

- ①オーダー用紙の記入ミスによる募集は廃止すべきではないか。(小谷様)
- ②オーダー交換ミスの場合の没収は廃止すべきではないか。その代わりとして、ペナルティを設けてはどうか。

〈学連の提案〉

- ①今年度よりオーダー用紙の記入ミス(大学名、日付、氏名、部印など)では、王座の規約に合わせ没収はとらないことと致しました。また、王座に合わせ2部以下のオーダー用紙も1部のものと統一することに致しました。
- ②没収試合規定を少々変更いたしました。しかし、そのオーダー規約に反した場合は、例年通り没収となります。分かりづらい部分や不明瞭な部分を排除し、上記のとおりオーダー用紙全般に関する没収を廃止致しました。オーダー用紙の書き方がわからないという要望に応え、書き方の見本も作成しました。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①オーダー用紙を学連用と相手校提出用に分ける必要は無いのでは。

〈学連の返答〉

- ①王座でのオーダー提出方法に倣って東海リーグも行う。オーダー用紙の統一は全日の理事会で話し合いを設けることとする。

#### 10、リーグの順位決定方法について

〈ご意見〉

- ①勝ち点と同じ場合は、勝ちポイント数で計算するのではなく、直接対決した方がいいのではないか。(松本様)

〈学連の提案〉

- ①現状維持で問題ないと思われます。参考のために、リーグ戦注意事項を載せておきます。「3、順位決定 勝ち点と同じの場合は勝ちポイントが多いものを上位とし、且つ勝ちポイント数が同じ場合は該当校の直接対決によるものとする。尚、3校同率の場合は幹事会の決定に基づき原則として再試合を行うものとする。」

〈今回の部長安徳会議でのご意見〉

- ①一般的に対抗戦で同率順位のチームが出た場合、まず直接対決を行い、並んだ場合は勝ちポイント数で競うポイント数ではないか。

〈学連の返答〉

- ①他の地方などを参考に東海リーグのみルールが違うのであれば報告し変更する。

#### 11、新入生評価基準及び1.5倍制度について

〈ご意見〉

- ①新入生評価基準を一つ繰り上げてはどうか。(小谷様)
- ②新入生の1.5倍制度を前の制度に戻すべきではないか。(松岡様)

〈学連の提案〉

- ①結論として、おおかた現状維持で今年度も評価する予定です。
  - ・前年度の成績を考慮する。
  - ・浪人生は評価の対象としない。（ただし、明らかに実力差があると判断した場合は幹事会の決定に基づき、評価を一つ繰り下げて適用するなどの対処を行う。）
  - ・他地域からの編入生の場合、地域によってポイント差があるため、学連がその選手の成績を考慮してシードをつける。
- ②現行の制度は、東海学生ポイントランキング規定「5.(4)新規登録した1年生は、東海学生春季テニストーナメント大会及び東海学生テニス選手権大会のうち初出場となる大会で得たポイント（ボーナスポイントを除く）を1.5倍とし、次大会の試合の組み合わせに反映されるものとする。」となっています。春大会、または、夏大会のポイントを1.5倍し次の大会に反映させれば、十分上級生と渡り合えるポイントが得られると判断しております。よって、制度の変更は致しませんことをご理解ください。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①浪人生の評価について細かく規定を設けるべきだ。
- ②1.5倍のポイントを一年間累積させなければ意味がないのではないのか。

〈学連の返答〉

- ①浪人期間中のブランクがある選手、テニス留学でさらにレベルアップしている選手など浪人という括りでは表しきれない部分がある。細かい基準を作るか、浪人生は一切評価しないか検討を行う。
- ②1年間の累積にするとポイントが大きくなりすぎる。

## 12、ペナルティー制度について

〈ご意見〉

- ①1回目は幹事長及びレフェリーから該当者及び主将への注意勧告、2回目は該当者及び部長監督への厳重注意と大会審判数の増加、3回目を試合出場没収としてはどうか。（小谷様）

〈学連の提案〉

- ①昨年度の警告は、審判に来なかった大学に取ることがほとんどであり、制度を変更する必要はないと考えております。

## 13、ラッキールーザーの選び方について

〈ご意見〉

- ①ラッキールーザーを3人にするのではなく、試合当日、サインナップした選手（予選F敗退選手、且つポイントを持っている選手）の中から抽選してはどうか。（松本様）

〈学連の提案〉

- ①現状通り、「予選F敗退選手、且つポイントを持っている選手の中から、抽選し3人をラッキールーザー」とする。理由として最も大きいのは、やはり会場にこなければならぬ予選ファイナリストの人数が増大してしまうからです。

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①一般の大会でもラッキールーザーは3人に絞らず該当する選手が集まってくる。学生テニスもそうすべき。

〈学連の返答〉

- ①他の大会を参考にし、新進から新たな方法で実行していく。

- 【3】今年度からの変更点  
→部長監督会議資料参照

【4】質疑応答

〈今回の部長監督会議でのご意見〉

- ①地方への派遣選手選抜の規定はどのようになっているのか。  
同じ大学から選手を選出すればダブルスも組みやすいのではないか。
- ②リーグ戦の審判の質をあげてほしい。  
細かいルールを知らない審判がいる場合などジャッジが適当でない審判がいる場合、審判を交代させたり、線審をつけたりしてほしい。
- ③部長監督の会議の部長監督を増やしてほしい。  
いつも同じメンバーしか集まっていない。

〈学連の返答〉

- ①関東、関西の派遣では派遣依頼元の学連から規定を決められている。  
北信越派遣では東海室内、関西合同練習会に該当しない選手などの基準がある。  
現状として同校から選手を選出するのは難しいが選出時に考慮することにする。
- ②今年度は審判講習会を開き審判の質が上がるよう尽力する。
- ③より密度の高い議論ができるよう学連から声かけを行っていく。